

第3学年特別活動(学級活動)指導案

場所 3年3組教室

児童 3年3組30名(男16名女14名)

指導者 及川 崇

1. 題材名 学級の問題を解決しよう

2. 題材について

(1) 児童の実態

学級の子ども達は1学期から現在に至るまで、学級全員が関わる事柄について話し合い、決定し、実践してきた。話し合いの活動の中で、自分達の意見を積極的に発言するなど意欲的に取り組む様子も見られるようになってきた。係活動や集会活動においても、自己中心的な行動をとる子どもや、主体性がない子どもも数名見られるが、友達と協力して活動している姿が多く見られる。学級会の形態や進行についても次第に慣れてきており、議長団による議事の進行は、助言を受けながらではあるが、基本的な進行ができるようになりつつある。しかし、話し合いの中の対立点を自分たちで見つける力や、対立の解決のために提案理由に立ち返ったり、新しい話し合いの視点を見つけたりして話し合いを深めていく力はまだ十分に育っていない。そのため、話し合いの中で同じ内容の発言の繰り返しや自分の考えのみの主張に時間を費やしてしまうことや、友達の発言に分からないことがあっても質問せずに話し合いを進めてしまい、深まりのない話し合いになる場合も多く見られた。話し合いの内容も「学級目標について」「係活動について」「毎月の生活目標の取り組み・反省について」など、教師が議題を選んだものや、話し合うことになっているものについてだけの話し合いが中心であった。

(2) 題材設定の理由

2学期に入り、1学期から設置している議題ポストの中には、今までに比べ、「きちんと掃除用具がかたづいていない。」「廊下を走っている人がいるので直してほしい。」というような意見や「みんなでドッジボールがしたい。」「みんなでお楽しみ会をしたい。」というような意見が増えてきた。そうした中、子ども達から議題ポストに入れた議題を話し合いたいという声が聞かれるようになってきた。そのため学級会長と副会長が話し合った結果、「次の話し合いでは、議題ポストの中から議題を選んで話し合うこと」をみんなに提案した。このことはみんなから快く承認されたが、どの議題にするか会長と副会長が選定しようとしたが、一つに決めることができなかった。そこで、みんなで議題ポストに入れられた議題について話し合い、一つに決定し、それを実践していこうということになった。

このように、子ども達の学級に対する問題意識が高まってきたこの時期に、自分達が選んだ学級の問題について話し合い、決定し、実践していく活動を行うことで、意欲をもって自分達のことを自分達で決定していく自主性や実践力が高まるのではないかと考える。また、自分達の学級のことを自分達で決めたり、変えたりすることができることを知ることで、学級生活そのものに対する期待や意欲が高まっていくと考えた。そして、今まで計画委員会について何も知らない子ども達が、本活動を通してその必要性や役割、活動内容を理解することで、今後の活動に生かしていけるのではないかと考えた。さらに、実践の場における子ども同士のかかわりの中で、集団の一員としての自覚や集団生活における社会性が育まれることが期待できると考え、以上のことから本題材を設定した。

(3) 指導にあたって

本題材の導入段階において、議題ポストに今までたくさんの議題が入れられてきたことを賞賛し、自分達で考えた議題を話し合いたいという人達がいることを教えたい。そして、話し合いに対する意欲を高めるために、自分達で自分達のことを決める良さを教え、全員で話し合っていくことを確認したい。本時で話し合う議題の選定は、教師の指導のもと学級会長と副会長に今学級で話し合うのにふさわしいと考えられる議題をいくつか選ばせることとする。

本時の指導にあたっては、自分の考えをもって意欲的に話し合いに向かわせるため、一人一人の考えを黒板に位置づけて話し合いを始めたい。そのために、数日前に議題を提示し、自分の考えを話し合いカードに記入させておくこととする。また、話し合いの中で、自分の経験や具体的な事例を挙げて発言している子どもがいた時には、それを取り上げて広めるように支援していきたい。さらに、話し合いが停滞した場合、噛み合わない場合には、新たな話し合いの視点を与えたり、近くの子と話し合う時間を与えたりして、互いの考えが深まるように支援していきたい。話し合いの終末には、自己評価とともに発言の仕方や発言の内容のよかった友達を挙げながら話し合いそのものの評価もさせ、次の活動への意欲づけとしたい。最後に教師から、本時で行ったような議題選定の話し合いは、本来計画委員会が行うことを教えるとともに、今後計画委員会を組織し活動していくことを知らせたい。また、話し合いの良かった点や頑張った子どもを賞賛し、次への活動の意欲を高めたい。

決定した議題を話し合う際には、新たに組織した計画委員会において話し合いの柱をたてさせるとともに、話し合いが深まるように適宜助言を与えていきたい。

実践の段階では、一人一人が意欲をもって活動できるように支援していきたい。

(4) 本題材のねらい

議題ポストに入れられた議題の中から、みんなで話し合う必要のある議題を決め、話し合い、決定し、実践していくことを通して、学級生活における問題を自主的・実践的に解決していこうとする態度を育てる。

(5) 本題材の評価規準(評価方法)

関心・意欲・態度

議題作り・話し合い・実践・振り返りの一連の活動を通して、友達と協力して意欲的に取り組もうとしている。(発言・態度)

思考・判断

一連の活動におけるさまざまな問題の解決について考え、判断している。(発言・態度・話し合いカード)

技能・表現

話し合いの活動などにおいて、自分の考えを発表したり、役割を分担したりして活動することができる。(発言・態度・話し合いカード)

知識・理解

一連の活動におけるさまざまな問題の解決方法を理解している。(発言・態度)

3. 本題材にかかわる活動と計画

月 日	時 間	参加児童	主 な 活 動 内 容	教 師 の 支 援
9月18日	放課後	会長・副会長	次に話し合う議題について考える。	みんなから「議題ポストに入れた議題について話し合いたい。」という要望があることを伝える。
9月19日	帰りの会	全員	次の学級会は、議題ポストに入れられた議題を話し合うことを聞く。	質問、意見がないか確認する。自分達で議題を選び、話し合う意義について教える。議題ポストに多くの議題を入れられてあったことを伝え、賞賛する。
9月22日	放課後	会長・副会長	議題と話し合いの柱を選定し、提案理由を考える。	議題を絞らせ、話し合いの柱を決めさせる。
9月24日	帰りの会	全員	次の学級会で話し合う議題、提案理由を聞く。	質問、意見を聞く。自分の考えを決めておくことをつたえる。

9月25日	朝の会	全員	議題に対する自分の考えを話し合いカードに記入する。	自分の考えを記入させるとともに、その根拠を明らかにさせ、記入させる。
9月30日	学活 (本時)	全員	みんなで話し合う議題を決定する。	話し合いが深まるように適宜助言を与える。
10月2日	放課後	計画委員	決定した議題について話し合い、話し合いの柱を決める。提案理由を考える。	議題の中で、みんなの考えが分かれそうことを選ばせ、話し合いの柱とさせる。
10月3日	帰りの会	全員	次の学級会で話し合う議題、提案理由を聞く。	質問、意見を聞く。 自分の考えを決めておくことを伝える。
10月6日	朝の会	全員	議題に対する自分の考えを話し合いカードに記入する。	自分の考えを記入させるとともに、その根拠を明らかにさせ、記入させる。
10月7日	学活	全員	決定した議題について話し合う。	話し合いが深まるように適宜助言を与える。
10月8日以降	未定	全員	決定したことを実践	意欲的な活動となるよう助言を与える。

4. 本時の指導

(1)ねらい

・学級の生活を考えながら、みんなで話し合う議題を決定することができる。

(2)展開

活動の流れ	子どもの活動	○指導上の留意点, ☆教師の支援
1.はじめの言葉	○議長の手合図で話し合いを開会する。	○議題, めあては議長に発表させる。
2.係の紹介	○議長団が話し合いの係を紹介する。	
3.話し合いのめあて	○話し合いのめあてを確認する。	
4.議題の確認	○議題を確認する。	
	みんなで話し合う議題を決めよう。	
5.提案理由の確認	○提案者が提案理由を述べる。	○提案理由は、学級会長に発表させる。
6.話し合い	○意見を交流し、決定する。 ・ドッジボール大会をしよう。 ・そうじをきちんとしよう。	○事前に一人一人の考えを黒板に位置づけておく。 ○子ども達の方で話し合いの活動が進められている場合には、できるだけ子ども達に任せる。 判断基準—思考・判断— <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">A 自分の考えと友達のことを比較しよりよいものはどれか、考え、判断している。(発言・態度)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">B どの意見がよりよいか考えている。(発言・態度)</div>
		☆よい発言が見られた場合には、適宜助言をし、よさを広める。

<p>7. 決まったことの発表</p> <p>8. 話合いの振り返り</p> <p>9. 先生から</p> <p>10. おわりの言葉</p>	<p>○決まったことをノート書記が発表する。</p> <p>○話合いカードに自己評価と話合いの感想を記入する。</p> <p>○議長の合図で話合いを閉会する。</p>	<p>☆子ども達の手で解決の方向性が見出せない場合には、話合いの視点を変えさせる助言や、提案理由に立ち返らせる助言をする。</p> <p>☆話合いが停滞した場合には、近くの児童と話し合う時間を与える。</p> <p>○話合いで決まったことを確認させるようにする。</p> <p>○話合いの達成感を持たせるために、話合いにおける態度、内容、係の働きについて良かったところを評価する。</p> <p>○今後、議題の選定は、計画委員会を組織し、そこで行うことを伝える。</p>
---	---	---

話し合い、カード

名前

議題

--

自分の考え

わけ

話し合い

【自分の考えにえいきょうを与えてくれた人とその発言】

人	発言

話し合いの後の自分の考え

--

決まったこと

--

話し合いの時の自分

◎自分の考えを発表できましたか。	
◎友達のと自分の考えをくらべて聞くことができましたか。	
◎賛成、反対、質問、つけたしの発表ができましたか。	

今日の話し合いでがんばったこと
